

租税教育実践レポート

税金について知ろう

登米立石越小学校教諭 6学年 二階堂 奈々

実施年月日：令和2年1月17日 31名

1 実践計画・指導のねらい

税金の中でも身近な『消費税』については知っているものの、納めた税金がどのように使われているかについて知っている児童はいなかった。税金という言葉を目にしつつ、関心をもつことなく生活してきた。租税教室や社会科を通して政治と税金の関係について学ぶことで、税金が自分たちの生活を支えていることを知り関心を高められるようにする。

2 単元構成・実際の指導状況（単元を通した全体の主な学習計画及び教師の指導）

時間	学習内容	主な発問（○）、こどもたちの反応（●）、使用教材等（□）
1	・租税教室 税金の意味や使い道について知る。 (佐沼税務署の方を講師にお招きして)	○税金は、みんなのためになることに使われています。税金が使われているものと使われていないものに分けていきましょう。 ●ファミレスもみんなのためになるから使われているんじゃないか。→お店の利益が目的なので使われてはいません。 ●消防車や救急車を呼ぶのに使われている ○税金がなくなるとどうなるでしょう。 ●救急車が呼べなくて困る。 □使用教材名 ・税のビデオ（マリンとヤマト又はアナザーワールド）
2	・子育て支援の取組について知る。 税金の使い道の一つとして、子育ての事業があることを知る。地域での暮らしをよりよくするために事業の工夫について知る。	○市の取組として子育て支援にも税金が使われています。事業はどのような工夫がされているでしょう。 ●親子も楽しそうに活動している。 ●子育ての悩みを相談していて、地域で生活しやすくなっている。 □使用教材名 ・新しい社会6（下）東京書籍
3	・税とはどのようなものか調べる。 細かな種類 具体的な使われ方 教育にかかる税金 税金の歴史 など	○租税教室や授業で税金について学習しました。税金は、そのほかどのようなものがあるかのように使われているかなど、詳しく調べてみましょう。 ●税金の歴史を調べたい。 ●地方税・国税がある ●教育にも税金が使われている。 □使用教材名 ・副教材「わたしたちのくらしと税金」
4	・調べたことを発表する	○税金についてわかってことを発表しましょう。 ●たばこやお酒にも税金がかかっていることを初めて知った。 ●小学校で一年間で一人当たり約8.4万円も使われてると知って驚いた。

【指導のポイント】<1時間目>

税金が使われているものと使われていないものと写真を分類することで、税金についての関心が高まった。税金がなくなった場合を想定したDVDを視聴することで税金の大切さについて理解を深めることができた。

【指導のポイント】<2時間目>

税金が使われる事業の例について学ばせる。子育て支援センターに通っていた児童も数名いた。市民の思いを受けて事業が行われていることを知ることができた。

【指導のポイント】<3時間目>

税金について、知りたいことをそれぞれ調べさせることで、多面的に関心をもてるようにした。税金の歴史として大宝律令の学習を振り返ったり、道路の補装や教育など身近なところでたくさん税金が使われていることを学んだりできた。

【指導のポイント】<4時間目>

分かったことをグループで意見交流した後、特に印象に残ったことをキーワード化し黒板に書かせた。それぞれ、疑問に思ったことを質疑応答させたことで、税金についての理解が深まった。

3 実践の成果（◎）と課題（◆）（租税教育を実施後、教諭自身の感想や児童・生徒の反応、他の教諭に対して、今後参考としてほしい事項など）

◎税金についての関心が高まり、自分たちの身近なところでも使われていることや生活を支えていることについて知ることができた。

◎歴史を振り返りながら、税金は古くから生活に根付いていることについて理解することができた。

◆税金について多面的に興味関心を喚起することはできたが、より理解の深まりを得るためには部分的に焦点化を図る必要があった。

◆計画的に系統立てて税金についての学習を組み立てる必要があった。